

シンプル投資法

A decorative horizontal bar with a halftone pattern. The left side shows a landscape with a white star-shaped object and a yellow sun. The right side shows a blue sky with white clouds and a yellow path leading towards them.

少しずつ長く付き合いおう

投資への誤解





投資は損をするから嫌だ

- 注目は損失、減少などマイナス現象に目が向く
- 預貯金は殖えないが減らない安心がある
- 投資は減ることもあれば殖えることもある

マイナス現象に注目し、プラス現象には注目しない
危険、損失、減少に敏感なのは動物の本能

難しい投資先の方が儲かる

- 預貯金は身近であるが儲けが少ない(ほとんどない)
- 預貯金 < 債券 < 投信 < 株式 < 不動産 < FX、先物、オプション
- ローリスク・ローリターン ハイリスク・ハイリターン

リスクとリターンは正の相関関係
良く分からない投資先が高い投資先ではない



ベテラン投資家は大金を一括投資する

- 投資にはまとまったお金が必要である
- お宝情報を上手に入手する
- 永年の勘と経験と専門知識を下に投資する

大量一括投資は投機やギャンブルと同等
投資タイミングに左右される



勤労所得は尊く、不労所得は卑しい

- お金はコツコツ働いて稼ぐもの
- 投資などは不心得者の振舞い
- 泡銭は身に付かない

世の中の圧倒的多数は勤労所得者
世の中のお金持ちは不労所得者

投資の常識





理性より感情が優先される

- 人は感情を持った動物である
- 感情はポジティブを好みネガティブを嫌う
- ネガティブはポジティブの3倍以上の威力がある

ネガティブに敏感は種の保存による進化論
理性で答えるには平静で知識を要する



投資はギャンブルではない

- ギャンブルは依存症の一種
- ギャンブルはワクワク、ドキドキ、瞬間的で感覚的に楽しい
- 投資は我慢、忍耐、長期的で決して楽しくない
- 投資とギャンブルを混同する人は多い

投資よりギャンブルのほうがはるかに楽しい
ギャンブル、博打は一か八かの運試し

リスクとリターン

- 貯蓄<投資<投機<博打(ギャンブル)
- 貯蓄: 普通預金、定期預金 減ることがなければ増えることもない
- 投資: 投信、株式、不動産 常に価格は変動するが、経済成長に順ずる
- 投機: FX、先物、オプション 短期的売買を繰り返し、投下資本に倍率をかけ取引する
- 博打: 競馬、パチンコ、宝くじ 元締めがいるゼロサムゲーム

還元率 宝くじ50%<競馬75%<パチンコ95%



世界のGDPは成長を続ける

- 資本主義社会では常に拡大再生産が行われる
- 株式の長期分散投資では収益率12%に収束
- 貯蓄は間接金融、投資は直接金融

世界のGDPは変動しながら右肩上がり
世界の人口は増加をしている

投資で儲けるコツ





安く買って高く売る

- 安い時期に買って高い時期に売る
- 最安値で買い、最高値で売ることは困難
 - 格言 頭と尻尾はくれてやれ、売りも買いも八分目

安くなったら大量に仕入れて高くなったら売却



配当は再投資に回す

- 分配金は利息ではない
- 分配金は運用資産の一部返却
- 分配金は受取らない

分配金等を再投資すれば複利効果

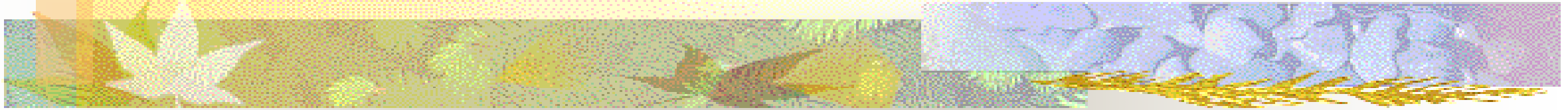


常に相場の中に身を置く

- 個人投資家が参入する時は相場が相当上がったとき
- ウォール街の格言
「相場は悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観の中で成熟し、幸福感の中で消えてゆく」
- 相場から離れると変化に鈍くなる

上昇と下落は常に繰り返す

感情に左右される行動





ネガティブに注目し、すぐに取り除こうとする

- 相場の下落に注目し、過剰反応を示す
- 面倒くさいことは嫌がる
- 消化できなくなると思考と行動は停止する

臭いものには蓋をしたくなる



合理的な判断はできない

- 人は見たいものだけが見えて、見たくないものは見えない
- 失敗は運が悪く、成功は自分の手柄
- リスクのマイナス側面に注目する

自分の思いが外れればパニックになる

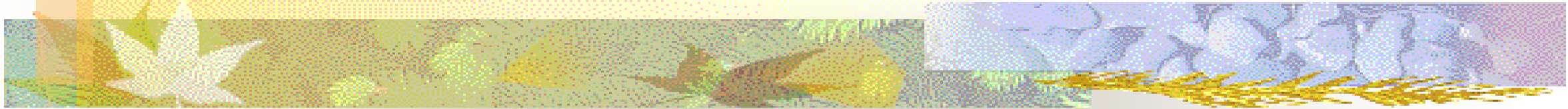


後悔だけが残る

- 投資を勧めた担当者を責める
- 投資で儲けようとした自分を責める
- 苦い経験から相場から離れてしまう

投資は怖いもの、二度と近づくまい

シンプル投資法(長期積立分散投資)



長期積立分散投資

- **長期** 少なくとも5年以上取引を継続する(塩漬けではない)
世界のGDPの波に乗る
- **分散** 銘柄分散と共に時間分散にも重点を置く
感情で売買時期を狂わせない
- **投資方針**
「インデックス型投信を毎月積立方式で購入」かつ「分配金は再投資」
- **投資銘柄**
国内株式40、海外先進国株式30、海外新興国株式30

長期積立分散投資

- ドルコスト平均法が適用される
- 毎月1万円から投資できる
- インデックス型は手数料が安い
- 株式は成長する可能性がある
- 分配金再投資で複利効果が得られる
- 機械的行動は感情で左右されない
- 相場が不安定でも精神的に安定している
 - 上昇時: 保有資産の増加
 - 下降時: 安価で大量購入

何故一括投資ではないのか

- 投資するタイミングにより利益、損失が決定
- 投資のタイミングは誰にも分からない
- 投機、博打と類似
 - リターンより快感に重点
- 精神的影響を受けやすい
 - 投資時の金額がアンカーとなる
 - 下落時に再投資は難しい

投資信託の種類

■ インデックス型

- 市場全体(マーケット)の動向を示す指標や指数のこと
- 取引所や新聞社、金融情報会社や金融機関系の会社などが開発し、算出・公表
- 日本株: 日経平均株価、TOPIX(東証株価指数)
- 海外株: NYダウ(米国)、FTSE100(英国)、DAX指数(ドイツ)、ハンセン指数(中国)
- インデックスに連動するように運用することを「インデックス運用」「パッシブ運用」という

投資信託の種類

■ アクティブ型

- アクティブ運用は、投資信託や年金などのファンドにおいて、ベンチマークや市場平均を上回る運用成績(リターン)を上げることがを目標とした運用スタイルのことをいう
- アクティブ運用では、ファンドマネージャーが株式や債券などの組入れ比率や銘柄を決定するので、運用成績はファンドマネージャーの能力に大きく依存し、またパッシブ運用に比べて、手数料や信託報酬が全般的に高めとなる傾向がある



投資信託のコスト

■ 販売手数料

予め定められた契約に基づき、販売受託者や仲介人などに対して、商品や製品、サービスの販売に応じて支払われる手数料のことをいう

■ 信託報酬

投資信託においては、ファンドの資産(信託財産)から、委託会社(投信会社)と受託会社(信託銀行)と販売会社(金融機関等)に対して、業務の対価として支払われる報酬のことをいう

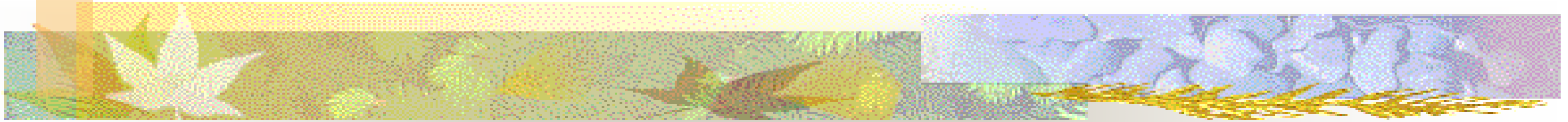


投資信託のコスト

■ 信託財産留保額

投資信託(ファンド)の追加設定や途中解約の際に発生する費用をいう。これは、信託期間の途中に買い付けたり、途中で換金したりする場合に、ファンドの運用の安定性を保つと同時に、長期に保有する受益者との公平性を確保するために信託財産中に留保されるものであり、また一種のペナルティ的な位置付けとして、短期間での換金を抑制する目的もある。

ドルコスト平均法



ドルコスト平均法

毎回、定期的に一定額を投資する方法

ドルコスト平均法

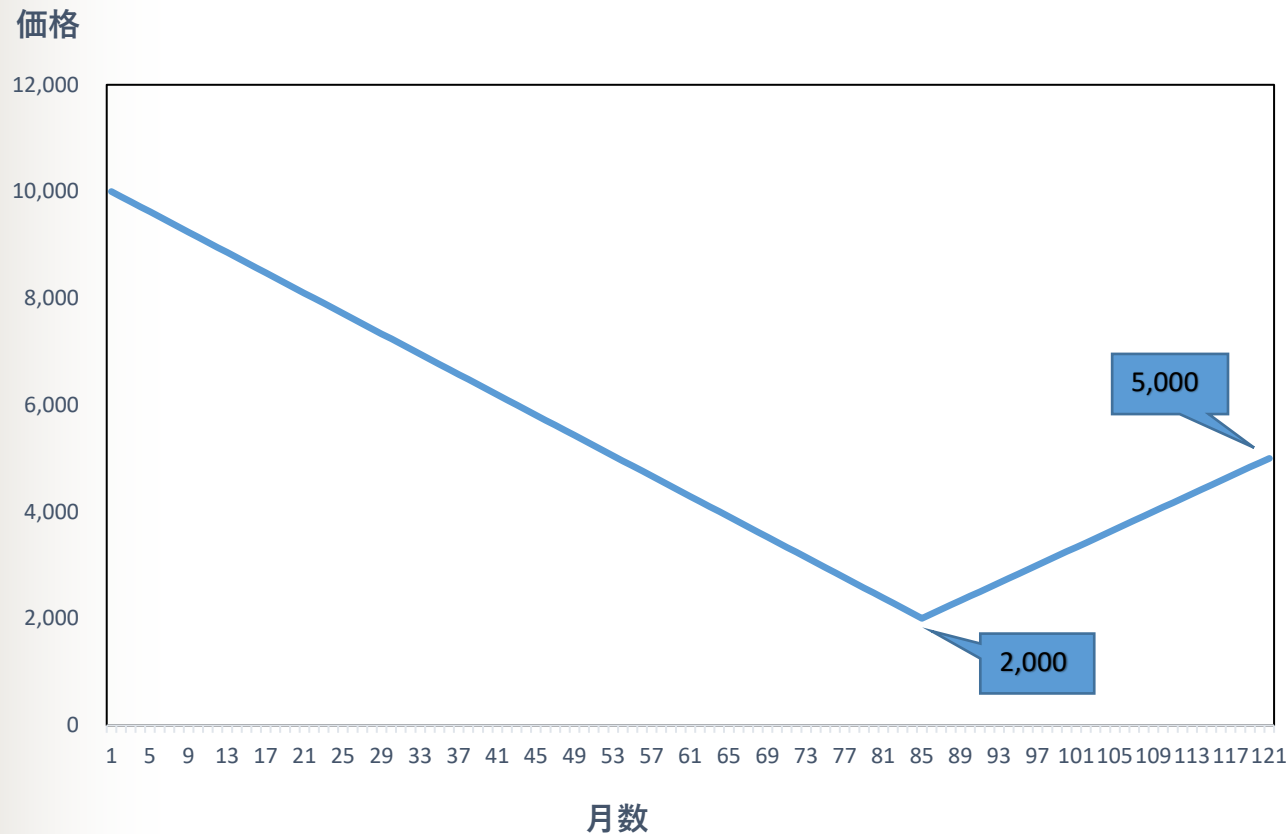
購入時期	1口当り価格	毎回1万円	毎回15口購入
1回目	400円	25口	15口
2回目	500円	20口	15口
3回目	1,000円	10口	15口
4回目	400円	25口	15口
投資金額		40,000円	34,500円
購入口数		80口	60口
1口購入コスト		500円	575円

価格が高いとわずかな購入、価格が低いと多くの購入

ドルコスト平均法

投資金額毎月10,000円10年間120万円10年後の総資産額は？

1. スタート時10,000円7年経過2,000円10年経過5,000円



← 総資産額は

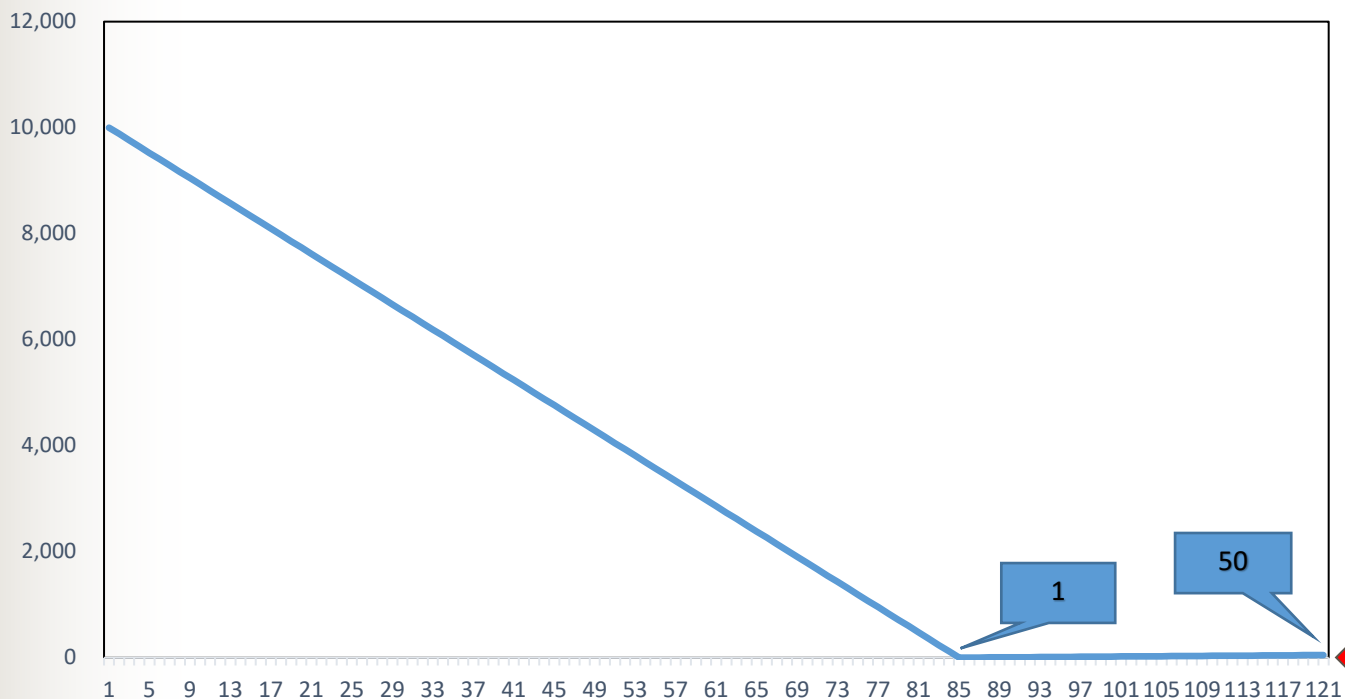
- ①約72万円
- ②約90万円
- ③約140万円★

ドルコスト平均法

投資金額毎月10,000円10年間120万円10年後の総資産額は？

2. スタート時10,000円7年経過1円10年経過50円

価格



月数

①約39万円
②約132万円
③約152万円 ★

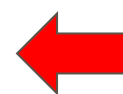
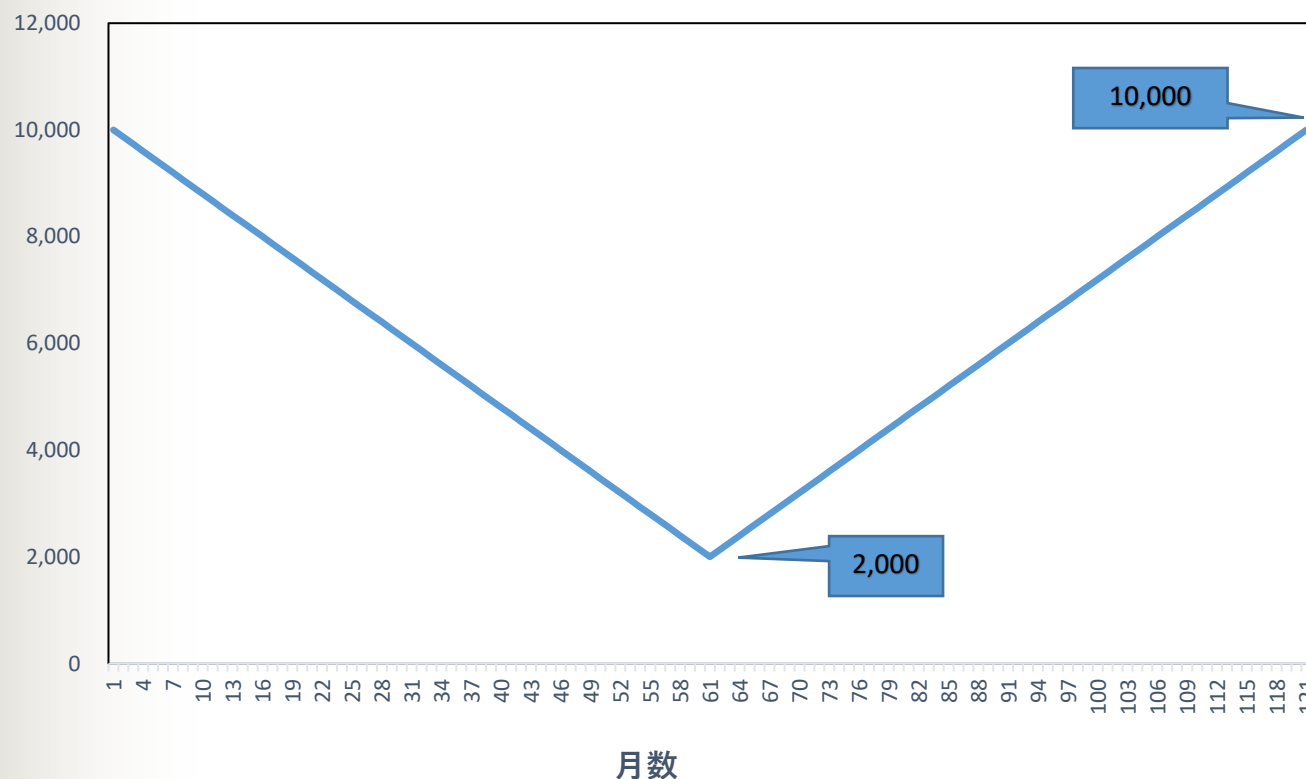
総資産額は

ドルコスト平均法

投資金額毎月10,000円10年間120万円10年後の総資産額は？

3. スタート時10,000円5年経過2,000円10年経過10,000円

価格



総資産額は

①約120万円

②約180万円

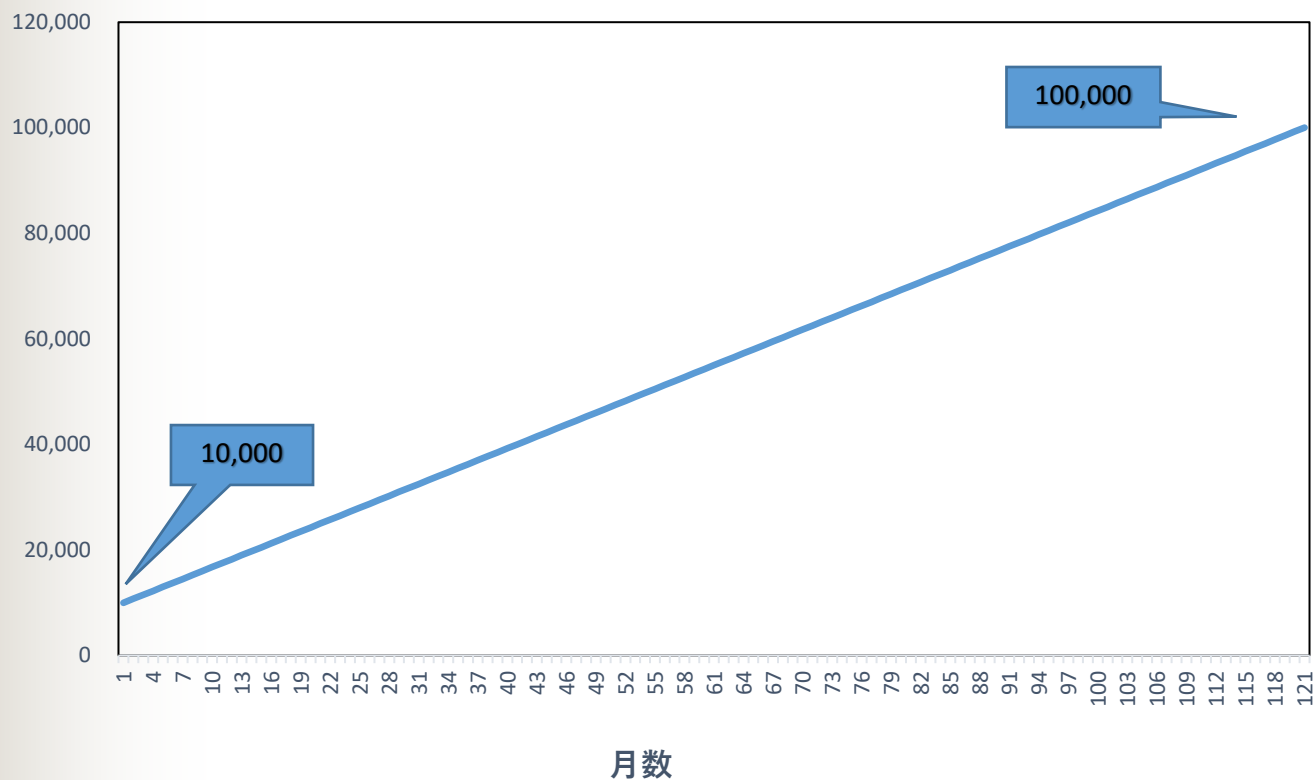
③約240万円 ★

ドルコスト平均法

投資金額毎月10,000円10年間120万円10年後の総資産額は？

4. スタート時10,000円10年経過100,000円

価格



← 総資産額は

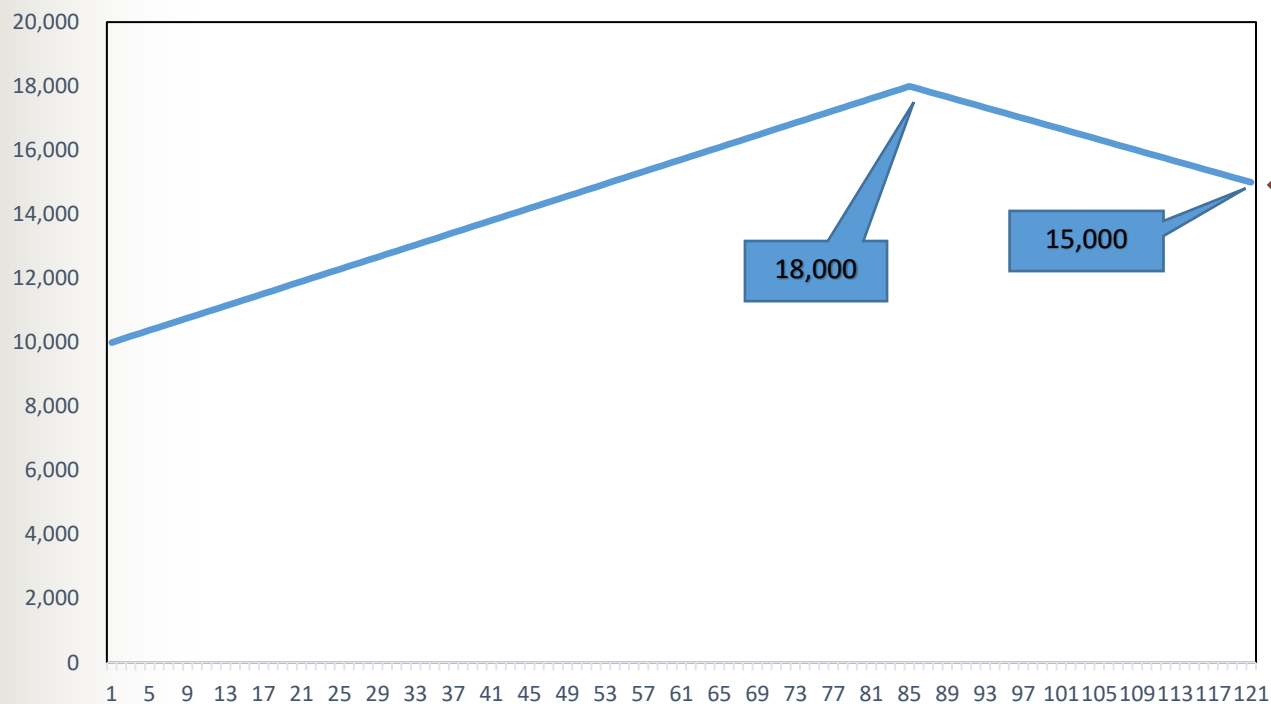
- ①約311万円 ★
- ②約527万円
- ③約855万円

ドルコスト平均法

投資金額毎月10,000円10年間120万円10年後の総資産額は？

5. スタート時10,000円7年経過18,000円10年経過15,000円

価格



総資産額は

①約105万円

②約125万円

③約158万円



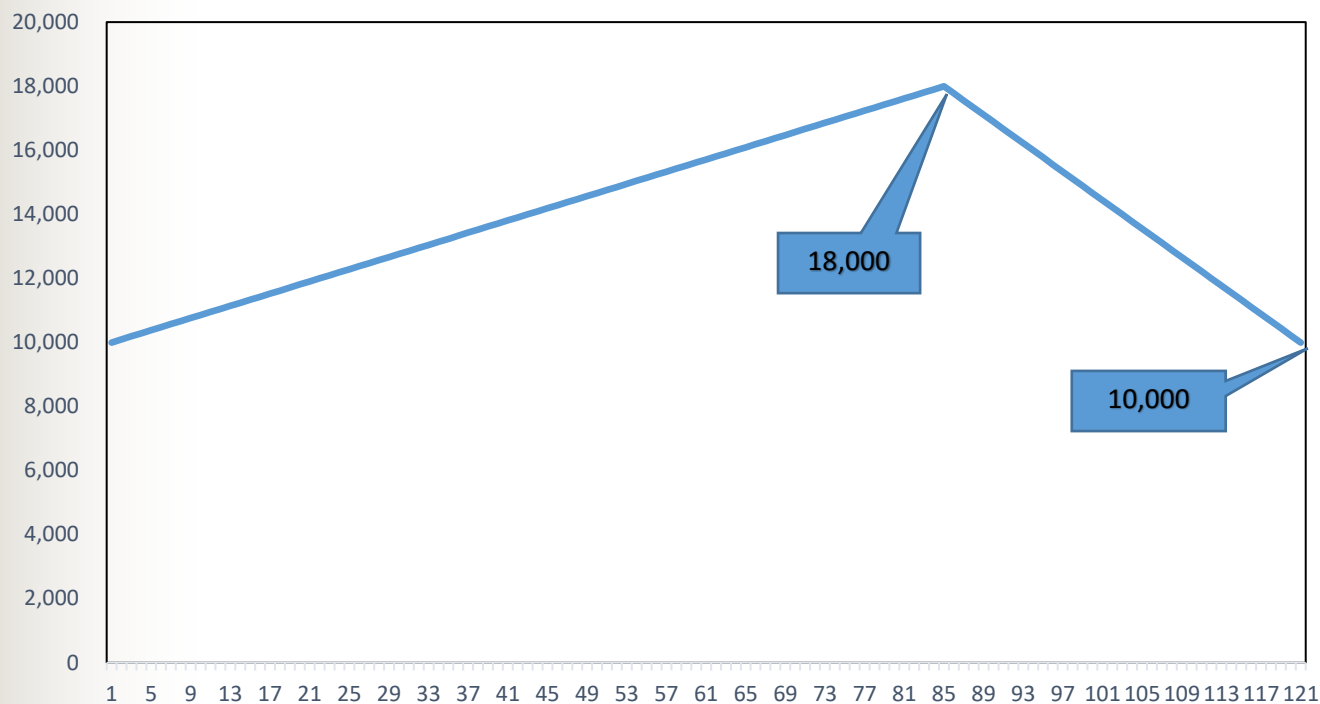
月数

ドルコスト平均法

投資金額毎月10,000円10年間120万円10年後の総資産額は？

6. スタート時10,000円7年経過18,000円10年経過10,000円

価格



月数

← 総資産額は

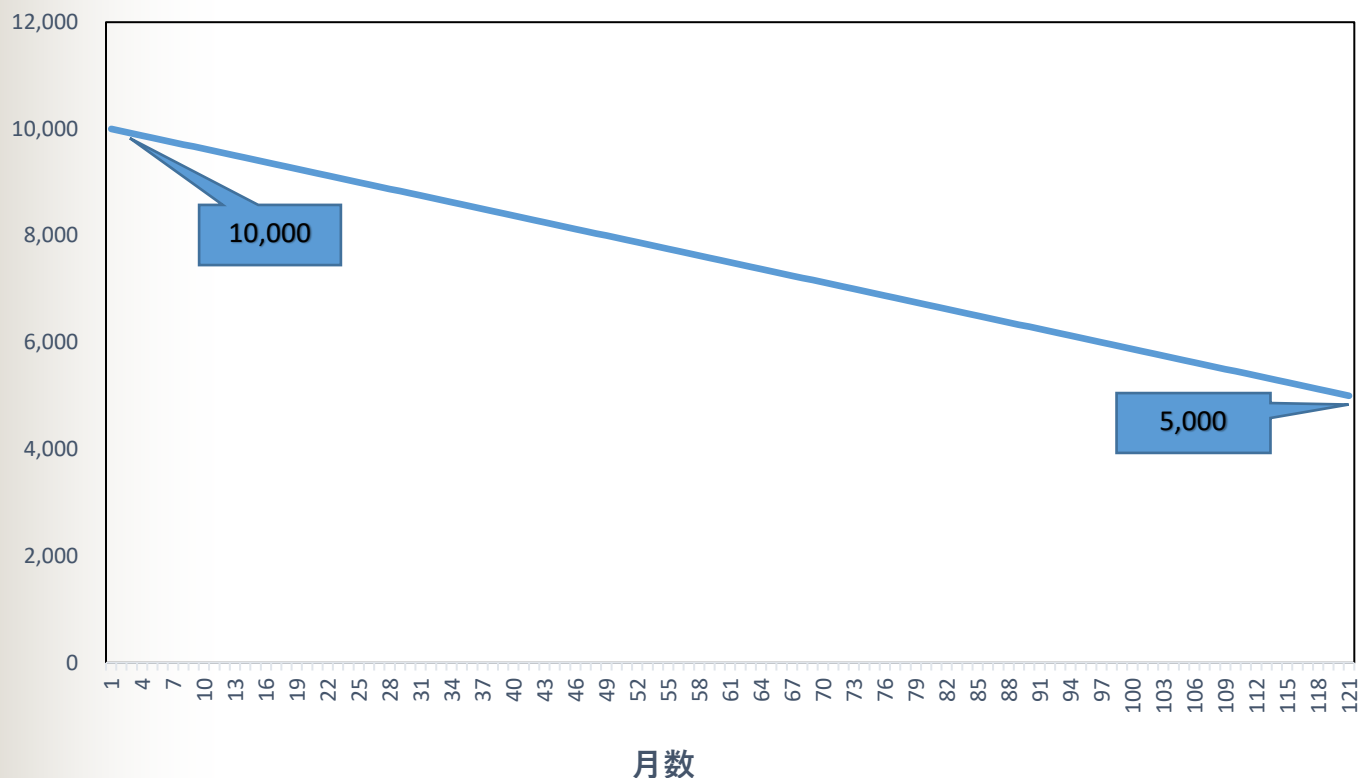
- ①約72万円
- ②約88万円 ★
- ③約110万円

ドルコスト平均法

投資金額毎月10,000円10年間120万円10年後の総資産額は？

7. スタート時10,000円10年経過5,000円

価格



- ← 総資産額は
- ① 約63万円
 - ② 約75万円
 - ③ 約83万円 ★

ドルコスト平均法

投資金額毎月10,000円10年間120万円10年後の総資産額は？

1. スタート時10,000円7年経過2,000円10年経過5,000円 約140万円
2. スタート時10,000円7年経過1円10年経過50円 約152万円
3. スタート時10,000円5年経過2,000円10年経過10,000円 約240万円
4. スタート時10,000円10年経過100,000円 約311万円
5. スタート時10,000円7年経過18,000円10年経過15,000円 約125万円
6. スタート時10,000円7年経過18,000円10年経過10,000円 約88万円
7. スタート時10,000円10年経過5,000円 約83万円

どんなに下げても少し戻れば利益が出やすい
下降局面では損失が生じやすい

投資信託のデメリット

投資信託は手数料が高い

- 販売手数料

国内株式インデックス 1~2%

- 信託報酬

国内株式インデックス 0.16%~

- 株式

株式100万円取引手数料 ネット525円電話2,700円

投資信託100万円10,000円



分配金

- **利息ではない**

分配金とは、投資信託の分配可能原資とよばれる資金の中から、決算の後に、投資家に支払われる金額のこと(支払われない場合もある)。

- **普通分配金**

投資信託から得た収益なので課税対象となる

- **元本払戻金(特別分配金)**

投資信託から得た収益ではないので課税対象とならない

分配金の受け取り方

- **分配金受取コース(=一般コース)**

決算時に出た分配金を現金で受け取るコースで年金代わりや月々のお小遣いとして現金収入を得たい人に向いている。

- **分配金再投資コース(=自動けいぞく投資コース)**

決算時に分配金として受取らず、その分を決算日の基準価額で追加購入するコース。分配金が複利効果を出すことから、長期にわたって資産形成したい人に向いている。

複利効果

■ 単利方式

定期的に一定元本に利率を掛けて金利を支払う。金利計算における元本は常に一定金額

■ 複利方式

定期的に元本に利率を掛けて金利を計算するが、期中では利息は払わないので、計算された利息も加算され元本が雪ダルマ式に増えて行く計算方式。最後に当初元本と金利を一括して支払う。

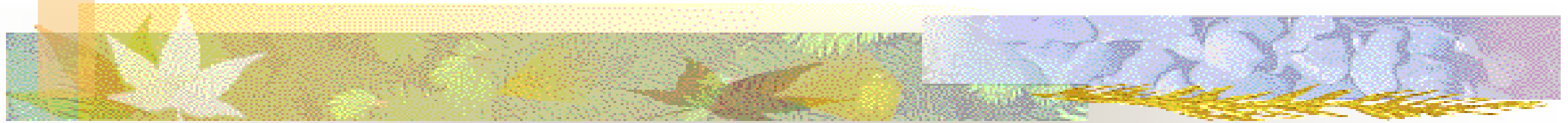
衝動の罠

- まとまったお金で安く買って高く売る 最高のパフォーマンス
- まとまったお金
 - 100万円、500万円、1000万円
 - 成功して大金を手にする
 - 宝くじに当たる
 - コツコツ貯める(多分ない)
- 最安値、最高値は常に更新される
 - 買って更に下がれば、溝に捨てたと同様
 - 売って更に上がれば、もう少し待てばと後悔が生じる

衝動の罭

- 時期を計ると迷いが生じる
迷いは行動を停止させる
損切りができず塩漬けになる
- 後悔は自分に向けられず外に向かう
投資はギャンブル、二度と近づくまい
自分は間違っていない、間違っているのは市場
- 2割3割は当たり前
偶然儲かると更なるパフォーマンス(高い利回り)を求める
いつしかギャンブルと同等

合理的な資産形成



合理的な資産形成

① 確定拠出年金

- 掛金の上限まで活用

企業型55,000円

個人型(iDeCo)23,000円(サラリーマン、専業主婦)12,000円(公務員)

- 優遇税制

掛金は所得控除

運用中の譲渡益、利子、分配金が非課税

受取時の一時金は退職所得控除対象、年金は公的年金控除対象

- 60歳までは引き出すことができない

合理的な資産形成

② つみたてNISA

- 年間40万円積立
- 運用中の譲渡益、分配金が非課税
- 非課税期間20年

③ 投資

- 積立投資信託
- 変額保険(生命保険料控除4万円)

④ その他

- 個人年金保険(個人年金保険料控除4万円)

**税制優遇制度を活用
すれば利回りは高まる**



シンプル投資法のポイント

- 世界経済は拡大再生産され成長する
- 景気は上昇、下落を繰り返す
- 最安値投資、最高値売却は不可能
- 人の判断は合理的ではない
- 長期投資はメンタル安定を考慮する
- 資産形成にはある程度の期間を要する

ご清聴ありがとうございます

お気軽にお問い合わせください